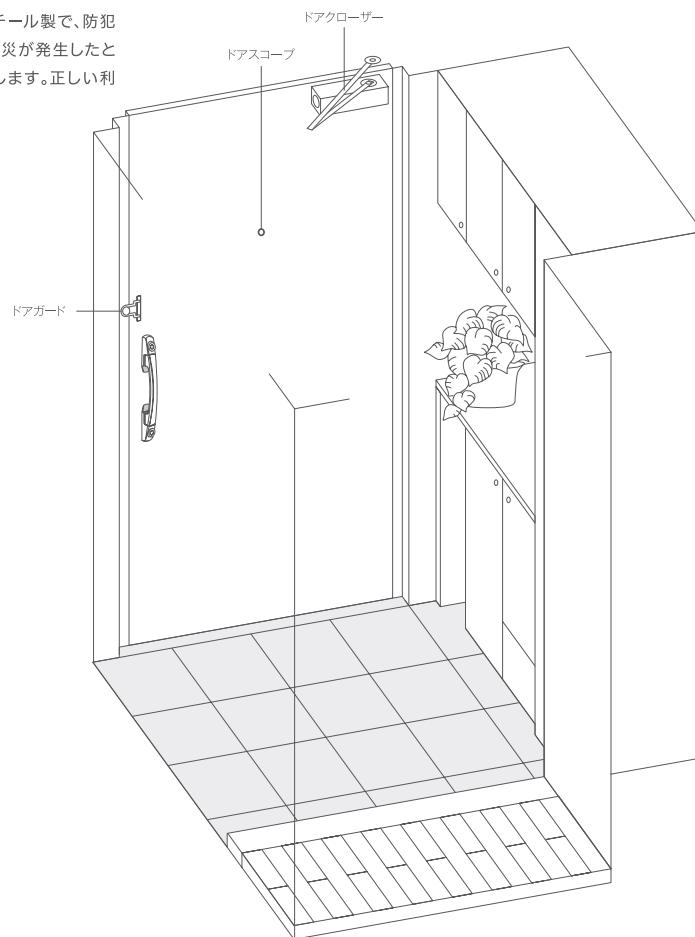


玄関ドアの役割とご注意

玄関ドアの役割

マンションの玄関ドアはスチール製で、防犯の要としてだけでなく、火災が発生したときには、防火扉の役割も果します。正しい利用法をご紹介します。

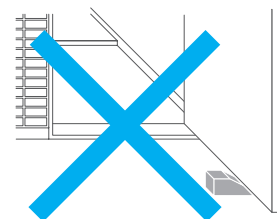


ドアを傷める原因

ドアストッパー

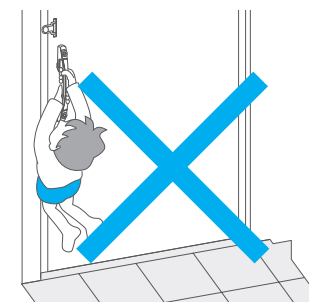
ドアストッパーは扉自体を上を持ち上げる力が加わり、蝶番部分を傷める原因になりますので使用しないでください。また、玄関ドアは消防法上の防火扉の役割を果しており、開放状態で固定することは法律に抵触する場合があります。

※玄関ドアには後付けで網戸は付けられません。



ドアに加重する

小さなお子さまがドアハンドルにぶら下がったり、荷物を吊るしたりして加重すると蝶番部分を傷めます。ご注意ください。



マンションの風の流れ

マンションの玄関扉やサッシは気密性が非常に高くなっています。キッチンや浴室の換気扇を使用すると、お住まい全体が負圧となり、ドアが開きにくくなります。換気扇を使用する際はお部屋の給気スリーブを開放するなど、空気を取り入れ口を設けてください。また、玄関扉を開けたとき、お部屋の中を風が通り抜け、リビングなどのドアが勢いよく閉まることもあり大変危険です。リビングなどのドアを開けておく場合は必ずおとり止めをご利用ください。

※ユニットバスに設置された24時間換気機能付き浴室暖房乾燥機はトイレと洗面所の換気も同時に行っています。そのため、トイレの換気機能を動かせると、一時的に浴室暖房乾燥機の換気量が增加して、吸い込み音が大きくなる場合があります。なお、一部住戸ではトイレには単独で換気扇を設置している場合もあります。販売時の契約図面にてご確認ください。

